



人口・世帯	(1月1日現在)
人口	193,807人 (前月比+66人)
世帯	61,598世帯 (前月比+63世帯)



ほのかな梅の匂いが春の訪れを感じさせる曾我梅林

ほのかな香りに誘われて  
春々こまで 梅まつり

春の訪れを告げる梅まつりが、ただいま曾我梅林と城址公園で開かれています。約三万本の梅と富士山の眺めが美しい曾我の里は、ほのかに匂う梅の香りを味わいながらのんびり散策する家族連れやグループで連日にごわついています。休日には野だてや郷土芸能の寿獅子舞も披露

され、まつりを盛り上げています。一方、隠れた梅の名所として知られる辻村植物公園も、静かなたたずまいの中であたり一面に咲き匂う梅の花の美しさはとも趣きがあります。梅まつりは今月二十八日まで開かれています。ぜひお出掛けください。



静かな雰囲気好評の辻村植物公園の梅園

国際色豊かに小学生駅伝

外国の友だちと健脚競う

小学生駅伝競走大会が二月三日、酒匂の印刷局周辺コースで行われ、百六チーム・六百三十六人のちびっ子が健脚を競いました。

十回目を迎えた今年の大会には、海外姉妹都市のアメリカ合衆国チユラビスタ市チームを始め、スリランカ、オーストラリア、中国の四方国から参加があり、国際色豊かなレースになりました。

選手たちは、沿道を埋めた父兄やお友だちの盛んな声援を受けて大健闘、熱いレースを繰り広げました。



声援を受けて勢いよくスタートする選手たち

小田原市市民生活緊急対策本部を設置

省エネルギーにご協力を

- 暖房は20度以下に
- 電気・ガス・石油の節約を
- 通勤・買物はバス・電車で
- 自動車の相乗りや経済運転を

情報提供をお願い

市では中東湾岸戦争の影響から市民生活を守るよう努めています。みなさんも困りの点、お気付きの点がありましたら次にご連絡ください。

◆市民相談室 ☎1383

◆小田原市市民生活緊急対策本部(企画政策課) ☎1255

大変残念なことに中東湾岸戦争は長期化する事が予想されています。今後物価の高騰や生活関連物資の不足も懸念されますので、本市でも1月30日に「小田原市市民生活緊急対策本部」を設置し、市民生活の安定に努めることにいたしました。市民のみなさんにも省エネへのご協力をお願いいたします。

3月16日(土)

クリーン さがわ

みんなの力で川をきれいに

足柄平野の母なる川、酒匂川は私たちにさまざまな恵みを与えてくれています。水ぬるむ季節この酒匂川を守り育てるために、自治会総連合をはじめ、ボランティア団体、県など多くの方の協力で、酒匂川一斉清掃を3月16日(土)に実施します。

ふるさと「おだわら」を愛するみなさんにも、参加をお願いいたします。

◆お問い合わせ 生活環境課計画指導係 ☎1487





### 老人保健 医

## 年々増加する医療費

# 健康管理は自分の手で

何人の方がこの制度に当てはまっているのか、そして、その医療費はどうなっているのか、平成元年度の状況をお知らせします。

**受給者の数は  
約1万4千人**

昨年の四月一日の時点で、市内には十九万二千五百十八人の方が住んでいました。その中で、平成元年度中に老人医療を受給した人の数は一万四千二百人(七十歳以上の一人一万三千七百八十一人・六十五歳以上七十歳未満で障害認定を受けた人二百三十九人)に当たります。前の年度と比べると、人数で約四百四十人、率で三・二ポイント増えています。

**医療費の額は  
72億7千万円に**

受給者が増えるのに応じて、医療費も増加しています。元年度は、総額で約七十二億七千万円にのぼり、前年度より額で三億六千万円、率で五・三ポイント増えています。(表2)

この金額をいくつかの側面から調べてみましょう。まず最初は、一人あたり額(表3)

一人当たり老人医療費は、五十一万八千円で前年のより二ポイント増えています。県内では、三十七市町村の中で、十五番目です。なお、県下の平均は五十四万二千円です。次に診療費の面からはどうでしょうか。診療費というのは、医療費の中で入院と外来、歯科の費用を併せたものです。診療費は六十五億六千万円(前年度比二億八千万円(四・五ポイント)の増、件数では、二十万六千件、前年度比四・一ポイント増です。

入院 外来、歯科別では、入院二・五ポイント、外来七・五ポイント、歯科三・一ポイントの増加となっています。(表4)

以上、平成元年度の数字をもとに老人医療費を見てきました。対象となる人の数、件数、費用のいずれも年を追って増加していることがお分かりいただけたでしょうか。これは、社会の高齢化(人口の中で高齢者の占める割合が大きくなっていくこと)を受けた結果で、高齢化はこれから先も着実に進み、三十年後には四人に一人がお年寄りという高齢社会になると予想されています。また、一般に、お年寄りが若い人に比べて病弱になりやすくなり、慢性の成人病になる傾向が強くなります。

これらを総合的に考えると、今後も、老人保健制度の医療費は増加すると考えられます。そこで、みんなが健康で充実した生活を送ることが、個人にとっても医療費の多くを負担する社会にとっても有意義なことだといえます。

しかし、健康は自分で守っていくしかありません。日ごろから健康管理をして、体に異常を感じたらすぐに医師の診断を受け、必要ときは早期に治療を受けましょう。そのとき、自分の体の健康状態をよく知っているか、かかりつけの医師を決めておくことも必要です。医師を次々に代えて、注射や薬を多くもらうことは避けましょう。適切な運動を心がけ、また、病気の早期発見、早期治療に努めて、心豊かな毎を送りましょう。

みなさんは、老人保健制度という制度を存じますか。この制度は、私たちが年齢を重ね、ある年齢(多くの場合は七十歳)になってからの保健の向上と福祉を進めること

を目的としています。その中には、病気の予防や健康づくりから、治療や機能訓練まで、総合的な健康事業が含まれています。

ここでは、小田原市の場合

から調べてみましょう。

構成比では、入院が五十六

以上、平成元年度の数字をもとに老人医療費を見てきま

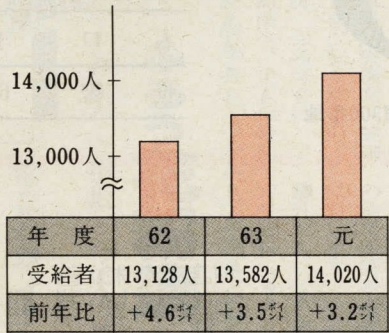
した。対象となる人の数、件数、費用のいずれも年を追って増加していることがお分かりいただけたでしょうか。

これは、社会の高齢化(人口の中で高齢者の占める割合が大きくなっていくこと)を受けた結果で、高齢化はこれから先も着実に進み、三十年後には四人に一人がお年寄りという高齢社会になると予想されています。

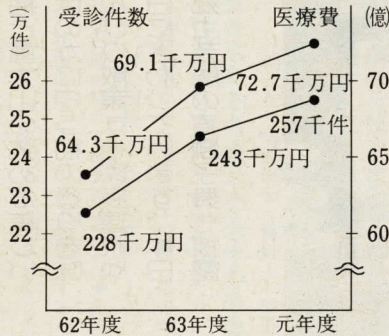
また、一般に、お年寄りが若い人に比べて病弱になりやすくなり、慢性の成人病になる傾向が強くなります。

これらを総合的に考えると、今後も、老人保健制度の医療費は増加すると考えられます。

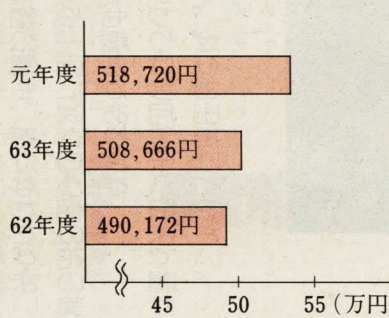
(表1) 老人医療受給者の推移



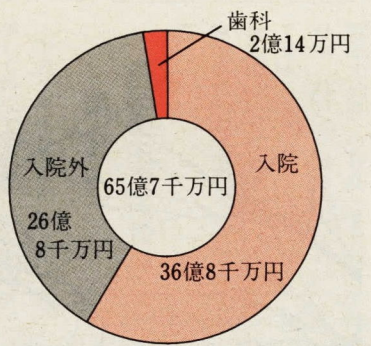
(表2) 老人医療費の推移



(表3) 一人当たりの老人医療費



(表4) 診療別内訳表



## 行政運営 の改革

# 市民サービスの向上を目指して

# テレフォンガイダンス導入など

小田原市に限らず、行政が果たすべきだと考えられる役割は、私たちが取り巻く社会や経済の激しい変化に対応し、同時に、大きく伸びていく

行政を担当する職員については、各職員の意識を改革し、能力を向上させるよう努めています。

公共施設の利用方法や催し物などを、市役所が一般事務を取り扱わない休みの日や夜間でも、簡単に知ることができ

ます。専用電話(☎331266)に電話して知りたい情報のコード番号を押すと音声で案内

します。市立病院の受付や会計などに、コンピュータで管理する一連の機器を導入して、お待

ちいただく時間を短くすることができました。

今更、図書館の貸出用登録手続は、お越しになったその日には完了しないでご迷惑をお掛けしていましたが、コンピュータを使うことにより、その場でできるようになりました。また、本の貸出し、一つに統合しました。

返却に必要な時間も短くなりました。みなさんのご利用をお待ちしています。

これまで、納税証明書の発行や所得証明などは、いくつかの窓口で分散して行っていました。資産税課の窓口一つに統合しました。

納税証明等の窓口を資産税課に統合

### 市立病院に 医事会計システム

### オフコンの充実 図書館情報システム

### 納税証明等の窓口を 資産税課に統合

## 国際交流祭



## 春の火災予防運動 まず消そう 火への鈍感無関心

感無関心

火災の多くは、火に対する「慣れ」や「油断」による不注意、不始末により起こっています。火災を防ぐため、一人ひとりが防火についての知識を深め、火の取扱いには十分注意しましょう。

◆山火事予防運動  
「燃えやすい地球を守る豊かな緑」  
山火事の多くは山に入る人たちのたき火やたばこの不始末から起こっています。不始末から起こるには、消火の準備をし、後始末を完全に、風の強い時はやめましょう。

◆車両火災予防運動  
昨年は13件の車両火災が市内で発生しました。その原因はさまざまですが、交通事故や整備不良によるものが目立っています。なお、これら車両火災の大部分は、初期消火活動が行われていれば、比較的少ない被害で済んだものと思われま

いざというときのため消火器を備えておきましょう。火災予防にみなさんのご協力をお願いします。

◆問い合わせ 消防本部 ☎1251

### 下水道の排水設備 工事の資格試験を 試験を実施します。

◆受験資格  
①市公共下水道排水設備工事公認業者の営業所等で、排水設備工事の技術上の実務に携わって2年以上の経験を有する20歳以上の方

②排水設備に関する工事の技術上の実務に携わって、5年以上の経験を有する20歳以上の方

③地方公共団体において、下水道工事の設計又は監督に携わり、引き続き3年以上の経験を有する方

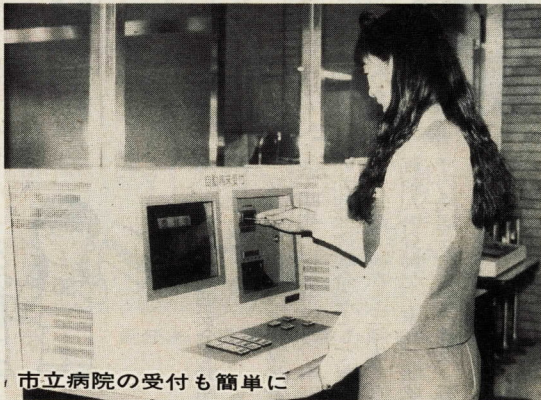
◆試験内容  
①筆記試験(排水設備の一般的な知識)  
②実技試験(配水管の接合、ます設置、インバート施行(筆記試験合格者のみ))  
◆講習会 4月16日(火)

講習会 4月16日(火)

同時に大きく変わってきています。

そこで、小田原市でも刻々と変化する状況に対応できるよう、「小田原市行政改革の方針」に基づいて行政運営の改革を実施しています。

内容としては、組織の面では、できるだけ簡素で、弾力的な体制をつくり、合理的な運営を目指しています。また、



### さまざまな分野で いろいろな改善が

その他にも次のような点を改善しました。

#### 行政サービスの適正化

1 各種事務事業の見直し

◆中小学校の空き教室の利用  
鴨宮中学校の空き普通教室を視聴覚教室などに転用しました。

◆学校給食の食器を硬質ガラス製に変更  
給食に使う食器をアルミト製から硬質ガラス製に替える事業を進めています。

◆外部委託の推進  
次のような事務や事業を外部に委託し、効率を上げ、多様化する行政需要に対応できるようにしました。

◆害虫駆除業務  
◆市民会館の管理業務  
◆ごみ収集業務  
◆OA機器導入の推進  
コンピュータなどのOA機器を入れ、有効に利用して、事務処理の正確さ、迅速さを向上させ、効率化を図り、市

◆給与の適正化  
◆退職手当の見直し  
◆退職手当の是正  
支給率を段階的に国家公務員に準じた水準に引き下げています。

◆職員定数の適正化  
◆少数精鋭主義の徹底  
◆職員意識調査の活用  
◆職員の能力の向上と職員参加の推進  
職員個々の能力の開発に努めました。

◆自主研究グループ及び個人通信教育への助成拡大  
◆ふるさとみどり基金、ふるさと文化基金、社会福祉基金

#### 給与と職員定数の適正化

1 給与の適正化  
◆特殊勤務手当の見直し  
◆退職手当の是正  
支給率を段階的に国家公務員に準じた水準に引き下げています。

◆職員定数の適正化  
◆少数精鋭主義の徹底  
◆職員意識調査の活用  
◆職員の能力の向上と職員参加の推進  
職員個々の能力の開発に努めました。

◆自主研究グループ及び個人通信教育への助成拡大  
◆ふるさとみどり基金、ふるさと文化基金、社会福祉基金

◆民間活力の導入と市民参加の方策  
1 民間活力の導入  
民間の専門知識・技術や資金などを積極的に導入しました。

◆ふるさとみどり基金、ふるさと文化基金、社会福祉基金

#### 組織の簡素化と運営の活性化

1 外郭団体の見直し  
各種の外郭団体の自立と活性化を図るために、業務内容や機能などを見直しました。

◆公益事業協会で組織体制の充実のための課制を導入  
◆高齢者生きがい事業団を解散し、財団法人シルバー人材センターを設立

◆広聴会の内容の充実  
☆ ☆ ☆  
行政改革は自治体にとって永遠の課題です。今後も絶えず行政運営の見直しを行い、必要な改革を進めていきます。市民のみならずのご理解とご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ 企画政策課事務管理係 ☎331255

### 友好の握手で戻せ 北方領土

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

### 連載随筆

## 小田原の50年を振り返る

井上 東 亜  
(元市史編纂専門委員)

〈第11回〉

熱海や東京から、秦野や御殿場から小田原に帰ってくる時、おなじみの風景や建物が目に入ると、「ああ、やっと帰ってきた」と、ホッとすると、この地点を線で結んだ内側、つまり、このホットラインの内側をふるさとと、私は定義づけ、長い間、教室で紹介してきた。みなさんも、私のふるさと論をおおいに語りあってください。

さて、小田原をふるさとと定めて、永住を望んでいる市民の数はグラフのとおりである(資料は市実施のアンケート)。昭和四十九年ごろは、

国府津、橋地区に転入者が多く、他にくらべ、永住希望率が低い。昭和五十二年には、

豊川、足柄地区に転入者が広がっている。市の花(うめ)や市の木(くろまつ)の周知率は、市中心部といはばん外側の片浦、富水、桜井地区で高く、橋、国府津、豊川、足柄など、市の

中心部に舌状に延び入った転入者の多い地区では市政

に対する関心がやうやうい結果が出てくる。昭和五十六年の永住希望率はグラフのよう

ことふれておきたい。平成元年アンケートの自由回答に、「排他的であることは小田原人の最大の欠点」(上府中四

代女性)、「新住民を『よそもの』として見下しているような気がする」(足柄五十代女性)とある。かねてから耳にしたこれからの指摘は、今後の住みよい街づくりに、ぜひ克服すべき問題の一つであろう。

#### ふるさとと小田原の横顔

昭和51年以降

次に統計表を見てみよう。本県は数字の上で横浜、川崎の占める割合が大きく、過密化が進む首都圏の自治体として、全国平均と極端に離れた位置にある

その中で小田原は、都会型の都市として全国と県の間にあるものが多い。個別には、市道の舗装率や所得の高さが目を引く。更に、結婚、離婚

率も高い。結婚はともかく、

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

72.7 85.5 89.4  
昭和49 56 62 平成元(年次)

市民の永住希望率

離婚は困りますね。小田原は離婚都市の汚名を着せられないようがんばってください。市民の平均寿命は

### 《小田原市の横顔》

項目	年次	小田原市	神奈川県	全国
平均年齢	60	35.7歳	33.7歳①	35.7歳
人口				
婚姻率(婚姻件数/総人口)	61	10.16%	6.51%③	5.84%
離婚率(離婚件数/総人口)	61	1.82%	1.42%④	1.36%
教育				
小学校教員1人当た人数	2	23.6人	24.7人②	21.1人
中学校教員1人当た人数	2	20.3人	21.0人①	18.8人
高校進学率	元	95.0%	95.2%②	95.1%
短大・大学進学率	2	20.5%⑤	27.3%⑥	30.6%
生活				
人口1人当たり所得	61	2873千円	2471千円③	2175千円
持ち家割合	58	78.0%	55.5%④	62.4%
1人暮らし老人世帯割合(普通世帯当たり)	60	2.36%	2.02%④	3.15%
保有自動車台数(人口千人当たり)	63	378.7台	353.0台⑤	430.6台
下水道普及率	61	41.9%	53.9%①	36.4%
生活道路舗装率(市町村道)	62	89.5%	73.0%⑦	60.1%
都市公園面積(人口1人当たり)	61	2.13㎡	2.53㎡④	4.30㎡
安全				
消防関係人員(人口10万人当たり)	元	481.7人	345.5人⑤	920.8人
出火率(人口10万人当たり)	63	40.0件	35.2件③	45.2件
一般病床数(人口10万人当たり)	63	980.5床	726.2床⑥	987.5床

注) 白々キ数字は全国順位。%は千分率。

## 国際交流祭 おしらせ とときめき小田原まつり

### 20歳から学生も 国民年金に

これまで20歳以下の学生は国民年金の任意加入の対象となっていました。4月から、学生も20歳になったら全員「国民年金」の強制加入の対象になります。

近年、学生がスポーツや自動車、バイク事故等で障害者になるケースが増加しています。現在の制度では、20歳未満で障害者になり、障害の1級・2級に該当した場合には20歳から障害基礎年金を受けられますが、20歳以上の学生が障害者になった場合、国民年金に加入し、保険料を納付

◆国民年金の保険料  
前納は4月中に  
平成3年度の国民年金保険料の前納払込み期限は4月30日です。忘れないで手続きしてください。

期限内に払い込まないと、割引のない毎月納付の取扱いになりますので注意してください。

なお、新たに前納を希望する方は、平成3年度からの取扱いになります。3月8日(日)までに電話で申し込んでください。(その際、氏名と国民年金の記号番号をお知らせください。)

◆毎月納付と前納の保険料額は次のとおりです。  
○毎月納付定額 月額9000円(年額10万8千円)  
○定額前納 年額10万5390円  
○毎月定額付加 月額9400円

◆国民年金に強制加入となることにより、保険料を納付する義務が学生本人又は世帯主に生じますが、負担能力のない場合は申請により保険料の免除を受ける道が開かれています。

◆問い合わせ 保険年金課国民年金係 ☎331868

### 市立病院 看護職員を募集

市立病院では、次のとおり正規職員を募集しています。

◆募集職種 看護補助員(看護婦の助手業務)

◆募集人員・資格 1人・おおむね30歳以下の方

◆応募期限 2月28日(木)

◆応募方法 市販の履歴書に必要事項を記入して、市立病院庶務課に持参してください。

◆採用 書類審査、面接、身体検査により決定します。勤務は4月1日からになります。

◆問い合わせ 市立病院庶務課 ☎33175内線60

### 試験内容

①筆記試験(下水道法規・排水設備工事の施行及び設計)

②面接試験(筆記試験合格者のみ)

◆講習会 4月26日(金)

◆試験日  
○筆記試験 5月10日(金)  
○面接試験 5月21日(火)

◆受験料 7千円

◆技能者

○筆記試験 4月16日(火) (講習終了後)

○実技試験 5月14日(火)

◆受験料 5千円

◆受験手続 4月1日(月)～12日(金)の午前8時30分～午後5時(土曜日の午後と日曜日を除く)

◆申込み・問い合わせ 業務課排水設備係 ☎33161

# わたしの提案

## ◇犬のふん公害をなくすために

▼箱根口門跡公園に街灯を  
(南町 老人会長 76歳)  
史跡小田原城跡箱根口門跡を老人会の会員のみなさんと草取り清掃したところ、犬のふんだらけで臭いもひどいものでした。昼間は明るく、人もいるので愛犬家の方もふんの始末に気を使うのでしようが、問題は夜の時間帯だと思ひます。そこで、夜は明るく電気をつけることを提案します。そうすれば、顔もわかるので愛犬家の方も気を付けると思ひます。

◎お答え

史跡小田原城跡箱根口門跡は、平成元年度に公園として整備し、開放していますが、おっしゃるとおり、犬のふんが放置され、市としても対応に苦慮しています。ふんの清掃や犬がふんをするのを嫌がる薬を散布するなどの措置を講じているほか、立看板を設置し、愛犬家の方に協力をお願いしています。



▲みんなの箱根口門跡公園をきれいに

**おねがい**  
愛犬家のみなさん、犬のふんはちゃんと片付けていますか？ 犬に悪気はありません。飼い主が責任を持って片付けましょう。

## わたしの提案を お寄せください

提案方法には、従来からのハガキによるものと、昨年八月からスタートした「おだわら・くらしのテレフォンガイド」を利用した電話の音声による方法の二つがあります。提案用のハガキは、市役所総合案内、支所・連絡所にあります。「おだわら・くらしのテレフォンガイド」を利用する場合は、☎331266、サービス・コード810へおかけください。

二十世紀末までと十年、小田原をもっと住み良く、魅力的なまちにするために、みなさんからのアイデアをお待ちしています。原則として匿名でない限り、回答を差し上げています。

◆問い合わせ 広報課 広報係 ☎331263

## はーととハート 女性サークルだより

### 交通安全は 家庭・地域から

今年も交通事故が、増加しています。人の生命は大切なものです。この尊い生命を一時にして、奪い去ったりする「交通事故」を、何としても、防がなければなりません。



な乗り方教室などを行い、事故防止活動を推進しております。

お母さん！  
お母さん自身が交通ルールを守ってください。交通安全は家庭からです。一家だんな



交通安全の会連絡協議会  
お母さん自身、交通安全を守ってください。交通安全は家庭からです。一家だんな

は、昭和六十三年一月、市内の九団体の連合会として誕生しました。現在十三団体、六百余人の会員が、家庭、地域での交通安全思想の普及に努めております。

◆代表者 泰田紀子  
◆連絡先 ☎8002

## 母親のついで

私たち「母親クラブ」は、子どもたちの健全な成長を願い、明るい家庭づくりを目



指し、お母さん同士がふれあいを深めながら、共に育っていくというクラブです。

小田原市内に三十の単位クラブがあり、五百余人の会員で構成されています。

子どもたちが明るくたくましく成長するために、子どもたちを取り巻く環境や地域社会にも目を向けて、子育ての悩みや家庭の中で困ったことなどを話し合い、仲間づくり

をしながら、お母さん同士が

◆代表者 鈴木栄子 ☎331264

## おしらせ

### 能「北條」を ビデオで見よう

昨年小田原城新能で初演された「北條」のビデオ(VHS)ができました。3月1日から無料で貸し出します。

◆利用方法 電話予約をしてから、身分証明書等を添えて社会教育課へ申込みを。

◆貸出期間 7日以内  
◆申込み及び問い合わせ 社会教育課 ☎331711

### 水道の修理は 公認業者へ

ご家庭の蛇口故障や水道管破裂などの修理は、水道公認業者へ直接お申し込みください。公認業者以外では修理できません。

蛇口、パッキンの取替えは自分でできます。公認業者が水道材料店で材料を買い、水道メーターボックス内の副止水栓を止めてから修理を。

配水管から分岐している給水管は個人財産ですので修理は有料ですが、公道内の水道管(給水管)修理及び水道メーター(量水器)の漏水修理は、水道局が無料で修理します。

なお、橋本地区については県企業庁水道局(二宮営業所)☎046378111へ。

◆問い合わせ 小田原市工務課 ☎331614

### 排水設備の修理は 施した業者へ

ご家庭のトイレや台所等の施設の詰りといった故障は、ご自分で直されるか、施行された業者へ直接修理を申し込んでください。

ただし、公共下水道を使用されている方は、配管の取替等修理は改築工事となりますので、公認業者にお申し込みください。

◆問い合わせ 下水道部業務課 ☎331614

### 水道管の保護を お忘れなく

これから寒さが厳しくなり、小田原は比較的暖かいので水道管の保護を忘れがちです。

水は私たちの毎日の生活に欠かせないものですから、厳寒に備えて水道管やメーターボックス内の露出した部分を保護することを忘れないうちにしましょう。

○外部の立ち上がりや、みぞや水路を横切っている露出部分には、発泡スチロール保温材料(公認業者又は水道材料店で販売しています)を巻くか、布等により保護

してください。



○立ち上がりや羽目板にびったり付いていて発泡スチロールや布が巻けない場合は、厚さ一センチぐらいの板で「コ」の字形の「と」を作り、羽目板にくぎ付けにして中におかずやもみ殻を入れてください。

○メーターボックス内の裸の部分にも発泡スチロールの箱を切り取りボックスの中に入れておくと安全です。

この時はメーターの針が読めるようにしてください。

○蛇口が凍った場合、熱湯をかけると破裂するおそれがありますから、湯に浸した布で徐々に温めて溶かしてください。無理に蛇口のハンドルを回すと、中のパッキンが傷ついて水が止まらなくなりますので、注意してください。

## 知っているな 私たちの 公共施設

市には、みなさんの生活を守り豊かにするさまざまな施設があります。この公共施設を市のマイクロスコープで見学することができます。毎日の生活から出るゴミや排水の処理施設、何気なく使っている水道の施設、新しく整備された公園などを、ご近所の方たちや、親しい友人同士で見学してみませんか。バスは無料です。

◆見学をご希望の方は  
○10:30人ぐらいのグループで  
○希望日の約2か月前から広報課で受け付けます。  
◆見学できる施設  
環境事業センター・高田浄水場・下水道終末処理場・保健センター・尊徳記念館・軽費老人ホームあしがり荘・梅香園・水産市場・青果市場・学校給食センター・上府中公園小田原球場・緑化センター・石垣山一夜城歴史公園・辻村植物公園などです。

◆問い合わせ 広報課 ☎331263

## ちびっこ

※時間等は各施設へお問い合わせください。

### 市民会館

2月  
17日 第11回市民劇場・児童劇「びびりしほていどん」  
19日 梅沢武生劇団「下町の玉三郎」梅沢富美男ショー

2月  
1日 シヤム猫カンパニー「卒業LIVE」  
2月  
16日・17日 小田原合戦400年梅まつり菓子展示会

23日 QCサークル発表会  
24日 山吹流実千滝会・新春ショー

### 中央公民館

3月  
1日 野球講演会・抽選会  
3日 '91春のダンスパーティー  
8日 食品衛生講習会  
9日 芦子小学校PTA音楽

2月  
16日・17日 小田原合戦400年梅まつり菓子展示会

26日 国際ソロプチミスト

### おさらい会

26日 小原流月例研究会  
3月  
1日・2日 小田原ロータリークラブ・「インターシティーミーティング」

2月  
13日・14日・15日 千草書展(展示室)

17日 詩吟発表会  
19日 文化講演会  
24日 第7回かながわ音楽コンクール  
30日 リトルピアノコンサート  
31日 身心障害者うた自慢うたで自慢フェスティバル